



峰台小学校音楽部生徒による琴の演奏

春のつどい

恒例となった船橋市国際交流協会の「2013 春のつどい」が、市民と在住外国人200名近くが参加して3月16日(土)宮本公民館で開催されました。全国学校合奏コンクールで今年度の金賞を受賞した船橋市立峰台小学校音楽部の琴の合奏「春の詩集」でオープニング。田村協会会長の挨拶に続いて琴と合唱で日本の調べを堪能して頂いた後、在住外国人の皆さんのいろいろな国の歌、踊り、さては御国自慢まで飛び出し、国際色豊かな春のつどいとなりました。

自らも出演したネパールのビゼさんがこの「つどい」の印象を直接日本語で次のように綴ってくれました。



フレンチカンカンを踊る実行委員の皆さん

た。

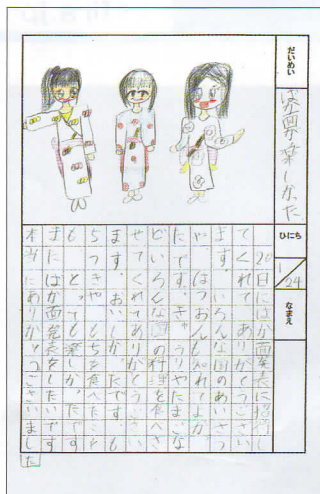
つどいの初めは峰台小学校の生徒による素晴らしい演奏（春の詩集）でした。小学生なのに迷いなく琴を弾いているのを見て会場の皆さん感動的だったと思います。

また来日してまもない外国の方々からのスピーチとパフォーマンスもよかったです。お昼は乾杯をはじめ、食事と歓談で会場が沸いた。後半は船橋市の副市長のあいさつから進んだ。その後日本人の方々によるインドネシアのコーラスグループ、スアラ・ファンタシイ&コール・フローレスの歌唱は心に響き、それに伴い彩る衣装は目から離せなかった。お国自慢の諸外国の皆さんも堂々と積極的に参加された。船橋市国際交流協会によるフレンチカンカンは会場を盛り上げ、お笑いも届いた。最後にお客様と参加者全員が参加できるようマカレナダンスを披露。時間が少なく感じつつ終わりを迎えた。最後に抽選会で各賞が与えられ実行委員長から閉会の挨拶がなされた。

広報委員 ビゼ スレスタ

諸外国の友達と一緒に「新年を祝う会」

1月20日（日）「コミュニティスタジオアートマン」において文化交流委員会により、外国人ネットワーク事業として標記の会が開催されました。



児童福祉施設の子供たちからの
お礼の手紙

会場には10カ国20余名の外国人をはじめ、協会員、その友人、知人に加え、市内母子寮の子供たちも大勢参加してくれたので総勢70名を超えました。歌や踊りで盛り上がり、和気あいあい楽しく新年のひとときを過ごしました。

また、この会は参加者の一品持ち寄りで行なったことで、テーブ

ルには各国の食べ物が並び、国際色豊かな宴となりました。

その他、会場の外では餅つきも始まり、つきたてのおいしい餅をふんだんに味わいました。外国人の子供たちによる「餅つき体験」もあり、大いに楽しみました。

文化交流委員 荒谷 晃行



参加した外国の人たち

国際理解セミナー ～世界の国からこんにちは～ 駐日ブラジル大使講演会

国際理解セミナーが、2013年2月27日（水）6時半より、フェイスビル6階の「きららホール」で開催され、約200名の参加がありました。6時半には大使が入場され、田村協会会長の挨拶の後、大使講演に先立ち、ブラジルからの留学生カロリーナさん、パウラさんの2人によるスピーチがありました。2人は共に昨年9月来日で、半年ばかりの滞在にもかかわらず、とても流暢で美しい日本語を話していました。

田村協会会長による大使の紹介があり、マルコス・ベゼーハ・アボッチ・ガウヴォン駐日ブラジル連邦共和国大使の講演がありました。大使は1959年生まれの54歳、ブラジル財務省の出身で外交官として30年以上外国で活躍し、日本には2011年3月に赴任しました。日本文化や日本の生活に対する適応には全く問題が無かったとの事でしたが、来日直後に起った、東日本大震災には大きな衝撃を受けられたようで、ブラジル系住民の方々を含めた日本の被災者の方々への支援に最善の尽力をなされたそうです。

講演の内容は、地理、文化、国民、経済、観光、日本との関係、FIFAワールドカップやオリンピックなど多岐にわたり、とても親しみやすく分かりやす

かったという評判でした。講演に引き続き、質疑応答があり、3人の方から、深海石油開発や高速鉄道計画の進捗状況、生物多様性を生かした医薬品分野の開発、民族の多様性に関する質問がありました。大使は常に笑みを絶やさず、ユーモアやウィットに富む回答をされていたのが、印象的でした。

次回は9月開催予定（広報ふなばしや国際交流協会ホームページでご案内します。）

文化交流委員 江口 一弘



右からブラジル大使、パウラさん、カロリーナさん

外国人によるスピーチ&パフォーマンス



中国・ユキさん



ブラジル・村上メールさん



ネパール・F5クラスの学生



捕れたてのスズキを無料配布する漁師の山本さん

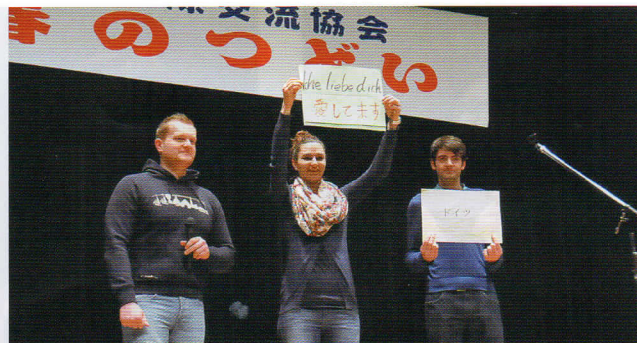


インドネシアコーラス スアラ・ファンタシィ & コール・フローレスの皆さん

4ヶ国のお国自慢



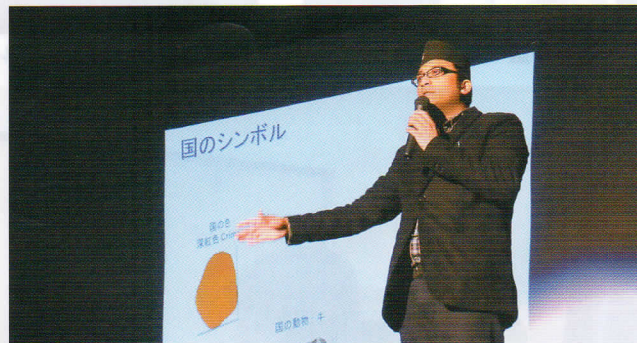
ミャンマー・金子ティンギウィンさん



ドイツ・左からサッシャーヴィーベルスさん、ステファニーリーゲさん、モーリッツメルクルさん



ペルー・トレスミドリさん



ネパール・ビゼスレスタさん



近隣都市（木更津市、袖ヶ浦市国際交流協会）からの参加者



抽選会で1等賞（ディズニーペア券）が当たった会員



参加者全員によるマカレナ、ボケ防止音頭

昨年デンマーク、オーデンセにある南デンマーク大学に留学していた宮崎さんからの便りです。現在は留学から戻って市役所で通常の仕事に就いています。

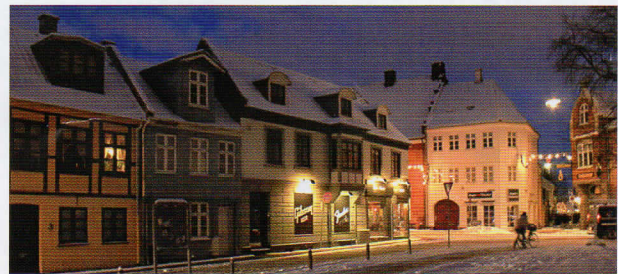


オーデンセ旧市街地

元国際交流室職員
現 介護保険課
宮崎 加津美

オーデンセは自転車の街として知られています。オーデンセの人にとって、自転車は生活の一部であり、重要な交通手段となっています。雪の日には、まず自転車道から除雪が行われるほど。私は大学への通学には、もちろん自転車を利用しました。ただ、デンマークの人は自転車を漕ぐのが非常に速い。自分では、そんなに遅いとは思っていませんでしたが、留学当初は女性にも簡単に抜かれる日々が続きました。デンマークの自転車は前に乗り出して漕ぐタイプのものがほ

とんだので、私が懸命に自転車を漕いでいると、突然富里のスイカが二つ分ほどある女性のお尻が眼前に現れるのです。しかも、こちらも懸命に漕いでいるのに、そのペースについて行くこともできず、おばちゃんたちの大きなお尻は、ダイエットもしていないのに、私の眼中だけでだんだんと小さくなっていく・・・ニッポン男児として少々プライドが傷つけられるデンマークでの思い出です。



オーデンセ市役所前（クリスマス時）

にほんごきょうしつしょうかい 日本語教室紹介シリーズ

水曜日の9時45分から11時45分まで日本語教室が行われています。中国・タイ・フィリピン・韓国・ベトナム・ナイジェリア・ロシア・ペルーなど14か国から来た人たちが日本語を学んでいます。まずコーディネーターが学習者の能力によってグループ分けをします。学習者2人または3人に対して日本語の支援者が2人つきます。現在ここでは55人が学んでいて、いつも来る人は40人くらいだそうです。東部公民館日本語教室には託児室があって、子ども連れの方にも喜ばれています。日本語の勉強の途中にティータイムがあり、みなでお茶を飲みながらおしゃべりを楽しています。ここでしっかり勉強をし、日本語が上達して、日本語を使う仕事をするようになった方もいます。12月と3

No4. とうふこうみんかん (水曜日 9:45~11:45)

月には、親交を深める交流パーティーが開かれます。去年の12月には、生け花を楽しんで年賀状も作りました。3月には日本文化を取り入れた交流をしました。

広報委員 福井



24年度日本語支援者養成講座(初級Ⅱ)

2012年9月6日～12月20日までの木曜日に初級講座Ⅰを修了した人を対象に標記の日本語支援者養成講座（全14回）が開かれました。

船橋市では日本語教室でボランティアとして教えるためにはまず初級講座Ⅰを受講しなければなりません。そして受講後1年ほど経った頃に初級講座Ⅱを受

けることになります。この講座ではより日本語らしい表現、日常よく使われる表現や言葉の微妙な違いの教え方などを学びます。今回の受講者は25名でしたが、すでに各公民館に配属されて日本語支援者として学習者に授業をしているので一段と熱が入っている感じがしました。

広報委員 塚原

相談窓口研修報告

2月26日(火) に関東弁護士連合会主催の懇談会が関東弁護士会館で開催され、相談窓口委員会から3名が参加しました。

先ず自由民権協会の理事による「改訂入管法、住基法は何をもたらすか」のテーマの講演がありました。その内容は次の様でした。これらの法律により外国人管理や社会的振り分けなどの問題や課題があること、外国人に保障されていた権利がどうなるのかという疑問があること、又この20年間でさまざまな在留資格

のある外国人が急増しているが、財政困難のなか公務員の増員は無いけれども、入管と警察は増員しているという事実があることなど。

講演に続いてグループワークになり、実例の討論をしたり全国からの参加者の経験を伺ったりしました。短時間の研修でしたが、ここで得たことを今後相談窓口で役立てたいと思います。

相談窓口委員 朱 桂英

「みんなでドミノ2～実践編」を見学 習志野市民プラザ大久保

平成25年2月2日(土)に、習志野市国際交流協会広報青年部主催のイベントに、広報委員2名が招待された。

前回の第1回会合で、どんな図案を作るかが、検討されていて、実践編では8班編制で図案製作に取り組んだ。

図案を基にドミノを組み立てて、やがてそれぞれのブロックを連動して倒して行く、創造的な感覚で楽しむイベントであった。

10～30代の大学・高校生を中心とする青年たち30人位(外国人16名)が集まり開催された。

日本ドミノ協会と契約して、20色位のドミノ箱が(1箱500個入り)リースで準備されていた。

約100畳位のホール床に思い思いの色彩図案を定時間内に作り上げ、それを結んで連動して崩すゲームだ

が、組み立て途中に何回も崩れては、作り直すための根気と忍耐が必要であった。

この協会の広報青年部は主に近隣の大学生で構成されているので、会合は午後7:00から始まるとのことであった。

我が船橋市国際交流協会も、外国人や若い人たちに積極的にイベントなどに参加してもらえるように会合の曜日や時間を考える必要があると感じた。

習志野市の国際交流協会のように若い人達が活動出来る場を今後考えていく上でいい機会となった。

広報委員 塚原・中谷



お知らせ

平成25年度総会を開催します

今年度の事業報告及び新年度の事業計画等を審議、決定するため下記のとおり総会を開催します。なお、総会に付議する議案は、後日会員の皆さんに送付いたします。

日時 平成25年5月14日(火) 午後から

会場 船橋市役所11階大会議室(船橋市湊町2-10-25)

平成25年度の会費納入のお願い

協会の会費は、年度会費です。毎年4月から翌年3月までの1年間の会費です。

同封の「払込取扱票」でお近くのゆうちょ銀行からお振り込みいただくか、下記、千葉銀行へお振り込みください。

<年会費> 個人 一口 1,000円
法人・団体 一口 10,000円

※二口以上の場合はお手数ですが通信欄に口数記入のご協力をお願いします。

<振込先> ・ゆうちょ銀行 口座番号記号 00170-7-57755
加入者名 船橋市国際交流協会

・千葉銀行船橋市役所出張所 口座番号 普通 3018415
口座名義人 ふなばしし こくさいこうりゅうきょうかい かいちょう たむら たいいち
船橋市国際交流協会 会長 田村 泰一

あとがき

気仙沼の大島に観光で訪れました。観光と言うと申し訳ないような気がしていましたが、地元の方はとても喜んで下さり、沖縄より美しいとも言われている海の景色を楽しめました。瓦礫の多くは片付けられ住民の減少とか地盤沈下などの問題を知らなければ、ただ何もない更地があるという印象を受けます。

2夜過ごした内、最初の夜はアメリカからボランティアで来ている200名の高校生の一部と同宿し、引率した先生の一人とおしゃべりをしました。2夜目はアメリカ海兵隊の、ある部隊と一緒にでした。この部隊は、震災直後から何度か援助に訪れたようです。今回はブラスバンドとして来島し3月11日の式典で演奏していましたが、その一員のクラリネット奏者と話す機会があり、思いがけなく小さな国際交流のできた旅でした。(SN)